

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書（Web 公開用）

申請者（ふりがな）	道川由佳子（みちかわゆかこ）
所属・資格（※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載）	修士課程 1 年
発表年月 または事業開催年月	2025 年 6 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本ストレスマネジメント学会 第 23 回学術大会・研修会
発表者（※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること）	道川由佳子、辻田真凜、福留尚典、嶋田洋徳
発表題目（※学会発表の場合のみ記載）	心的外傷後ストレス症のリスク要因における小児期逆境体験の実態に関する研究動向
発表の概要と成果（抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。）	
本論考は、心的外傷後ストレス症（Posttraumatic stress disorder：以下、PTSD とする）のリスク要因として小児期逆境体験（Adverse childhood experience：以下、ACEs とする）を取り上げている実証研究を概観し、本邦において PTSD との関連性を研究する上で適切であると考えられる ACEs の構成要素を検討することを目的とした。抽出された 38 編の文献から、家庭内の逆境体験のみならず、家庭外の広範な逆境体験についても ACEs に含めて測定されていることが明らかにされた。しかし、本邦の文化に即した ACEs について、PTSD との関連を検討している文献は見られなかった。したがって、本邦の文化的背景を考慮した幅広い逆境体験を ACEs に含め、PTSD との関連を検討することが必要であると考えられる。	

※無断転載禁止